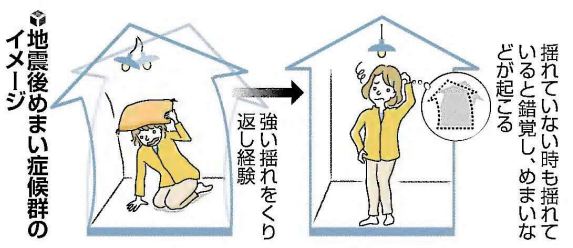


「地震後めまい」患者続出  
遠の時をさまよふ吸血鬼エドガー、  
アランと彼らをとりにまく人々を描い  
「ポ  
に、エドガーとアランが、ドイツ人少  
女と出会う話を中心になるという。

# 「地震後めまい」患者続出

28日に通算の地震回数が1000回を超えた熊本地震。被災地では、体の揺れやふらつきなどを感じる「地震後めまい症候群」の症状を訴える患者が増えている。14日の「前震」以降、相次ぐ余震に加え、車中泊や避難所生活でのストレスが発症の引き金になっている可能性が高いとみられる。

発生から2週間となった熊本地震の揺れは、新潟県中越地震(2004年)で本震後1年間に記録した997回を上回った。相次ぐ地震に、熊本県宇城市の松橋耳鼻咽喉科・内科クリニックでは、19日か



地震後めまい症候群のイメージ

## 余震頻発 避難ストレス原因?

# 体の揺れ ふらつき 訴え

地震後めまい症候群 地震の揺れを何度も経験したことで、地震でなくても体の揺れやふらつきなどを感じる症状。平衡感覚をつかさどる耳の中の三半規管に過度な負荷がかかることや、ストレスや不安感が高まることなどによって、自律神経の失調を招くことなどが原因となる。

ら27日までの間、同症候群とみられる症状を訴えて44人が受診した。年齢層は13〜89歳と幅広く、うち女性が9割近く(38人)を占める。体の揺れやふらつきを訴える患者が多く、自分や周囲のものが動いたり、回転したりするように感じる例もあった。44人のうち、20人は車中泊を続けている人で、14人は避難所生活を送っていた。避難生活に強いストレスや不安を感じている人が目立つという。

日本めまい平衡医学会認定のめまい専門会員である松吉秀武・同クリニック院長(43)は、「専門医以外にはあまり知られておらず、報告例は少ないが、避難所にいる潜在患者を含めれば、熊本県内の患者は1000人規模に及ぶのではないかと指摘する。被災者の生活環境を早急に整え、ストレスや不安を軽減するこ



東日本大震災でも2〜3割症状数か月  
東日本大震災の被災者にも、地震後めまい症候群の症状がみられた。盛岡市内で被災した女性(41)は、何もないのに揺れを感じる状態が4か月ほど続いた。「本当に地震で揺

とが重要だとして、「症状がひどい場合、耳鼻咽喉科などの医療機関を受診してほしい」と話している。

熊本地震からの一日も早い復旧・復興を――。JR九州は28日、博多(福岡市)―鹿児島中央(鹿児島市)間の九州新幹線で、「元気に！九州」と書かれたシールを車両に貼った「ラッピングトレイン」の運行を始めた。九州全体を元気づけようと企画。1号車の両側に黒い文字を大きく貼りつけている。1号車は上り列車の場合、最後尾にあたり、28日は鹿児島中央駅を午前8

## 復興願い 走る

九州・山陽新幹線 相互乗り入れ再開  
熊本では徐行続く  
熊本地震の発生から28日で2週間となり、鉄道網の復旧が進んでいる。同日は九州新幹線と山陽新幹線の相互乗り入れが始まり、JR豊肥線も大分県内一部の区間で運転が再開された。しかし、被害が大きい

坂田英明院長によると、「ふわふわしている」など、約8割が同様の症状を経験していた。うち、2〜3割は症状が数か月続いたという。坂田院長は「熊本地震では余震の回数が多く、気圧が不安定な時期でもあり、症状を感じやすい環境なのではないか」と指摘している。

地震に負けるな  
募金  
▽内閣府 ①みずほ銀行虎ノ門支店(普通口座4386254) ②三菱東京UFJ銀行東京営業部(同0952424) ③三井住友銀行東京公務部(同0175055) ④ゆうちょ銀行(口座番号00170・6・292463)  
▽熊本県 ①ゆうちょ銀行(口座番号00940・0・174320) ②肥後銀行豊前支店(普通口座1A9Q2R1)